

特集 | 白馬での地域密着事業

白馬村プロジェクトはさらなる推進へ

白馬村プロジェクトは地域課題を解決し、
サステナブルな社会の実現に向け、本格的に動き出しています

イノアックグループでは、持続可能な事業運営を推進し、地域と協業し、サステナブルな社会構築に取り組んでいます。白馬村プロジェクトは先進的な取り組みを模索し、あらゆる可能性をステークホルダーの皆様と実践していくことを目指しています。

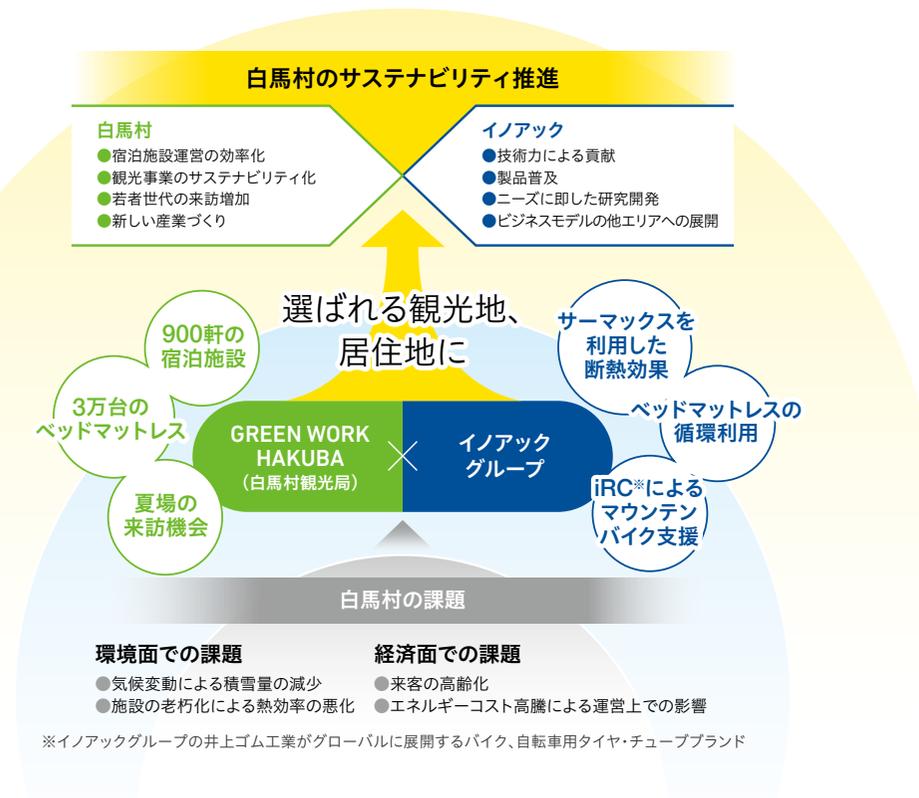
2022年12月に白馬村に事務所兼ショールームをオープンして以来、事業開拓を推進しつつ、行政や事業者をはじめ多くの方たちと交流を重ね、地域課題の解決に寄与する可能性を試してきました。

中でもイノアックがもつ素材や技術・製品(断熱材、健康寝具・捨てない寝具、旅行集客・海外移住者対応、村内企業の発展協働、グリーンシーズンスポーツの繁栄等)を活かした貢献と、そのための協業体制を整えることも重要と考え、より具現化してきています。

今後は、これまでの取り組みを踏まえ、地域社会におけるエコシステムを実装し、その中での新たなビジネスモデルの構築や拡大も課題となります。イノアックがもつ基盤的な素材や技術を用いて、より課題に密着した製品の提供も視野に入れ、推進していくことが必要です。

推進にあたって、イノアックとしての拠点の整備も必要と考えています。これは、地域の交流や白馬村を訪れる人も交流ができ、その中でイノアックのことも理解していただけるような「場」としたい狙いがあるためです。

さまざまな人たちが行きかい、交流を深めることで白馬村としてのサステナビリティ推進もより一層進展するものと期待しています。



断熱材「サーマックス」の提供 「断熱ワークショップ」の展開

これまでの
主な取り組み

白馬南小学校校舎の断熱ワークショップを皮切りに、白馬高校、白馬インターナショナルスクールへ「サーマックス」を提供しました。断熱性能の有効性を確認いただき、エネルギー利用の削減に貢献しました。

マットレスの開発 カラーフォームHAKUBAマットレス



白馬オリジナルマットレスの製作を行いました。ベッドカバーの上面はペットボトルなどのリサイクル素材を一部使用し、マットレス本体の中層には「ECOLOCCEL」(植物由来原料30%以上配合)、下層には「ミクセル[※]」を使用しています。カバーには白馬の山並みも再現しました。

夏季イベントの 開催、共催



四季を通じた観光を目指し、夏季の白馬の魅力体験していただく機会創出。

- オートバイのツーリングイベント開催
- 自転車のグラベルイベント開催
- 白馬村MTBイベント協賛
- 「JOCジュニアオリンピックカップ」参加
- 白馬MTBクラブ所属の原つばき選手のサポート

「GREEN WORK HAKUBA」 への貢献

白馬村観光局の取り組みへの参画を通じて、サーキュラーエコノミー構築に寄与。

※生産工程から排出された端材スポンジを粉砕し、蒸気と糊で固めたりサイクルウレタンフォームです。

新たな拠点づくりに向けて

白馬村プロジェクトでは、新たな拠点づくりを進め、持続可能な社会の実装に邁進します。
新たな拠点の全体設計を依頼している太幡様をお招きし、拠点への思いを語っていただきました。

拠点づくりに向けた経緯

煙山 現地で一人ひとりの課題をお伺いし、イノアックとしてお手伝いできる領域とイノアックだけでは解決できない領域など課題の本質にも触れ、多くのつながりをつくってきましたが、もっと有効に交流を図ることの重要性を切に感じています。

神谷 準備期間を含めると白馬とイノアックの関わりは3年目に入ろうとしています。これまで実施してきたさまざまな取り組みから、より本格的な活動を推進するにあたり、拠点を整えることが必要だという認識をもつようになりました。

柏崎 当初は事務所としての使い勝手を良くするといったくらいの感覚でしたが、さまざまな関係者とのやり取りの中で新たな

拠点としてのコンセプトの重要性を考えるようになりました。構想として、豊かな森の中に白馬村の自然環境を活かした新たな拠点をつくることを検討中です。「森」はイノアックの企業理念ともつながります。それを空間や場所全体で考え、多くの人々にとって居心地の良い「場」となり、それが将来にわたって続くことも必要と考えています。

太幡 私は、以前から白馬村とはお付き合いがあり、電線の地中化など公共空間づくりに関わっていました。今回の拠点づくりにあたって、最初はプロジェクトに参画前の段階でプライベートな席でいろいろと話を交わしたことを覚えています。

拠点の具体的なコンセプト

太幡 専門として建築、公共空間などの領域に携わってきました。今回の拠点は一企業のためだけのものではなく、公共空間をもった企業施設としての意味合いがあり、企業が担う「公共的価値」を模索する大変チャレンジングなものです。

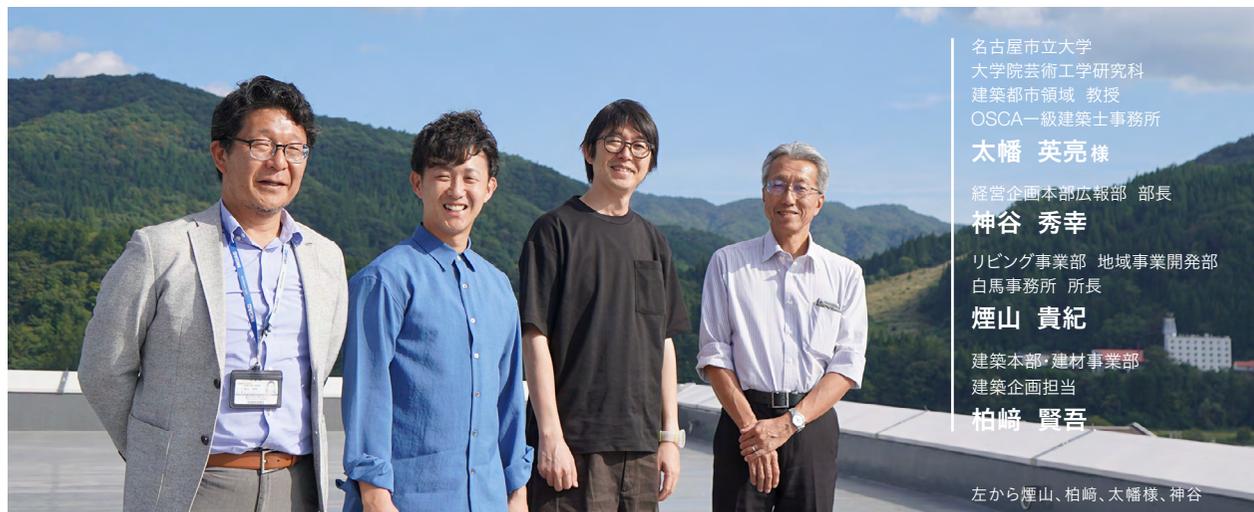
神谷 イノアックはBtoBの企業という顔だけでなくBtoC領域も手がけており、多様なステークホルダーとの公共性も重要な観点になると思います。

煙山 地元の人だけでなく、観光客など老若男女が一息つけるような交流の場となることも大事にしたいポイントです。その中でイノアックに対しての気づきや白馬村への理解、親近感も深めてもらえるといいですね。

柏崎 太幡先生もおっしゃっていましたが、敷地全体としていく世代もつづく森のような役割をもった公共性もこれからはより重要になるかと思います。

太幡 今回の事業は公共性の高い事業で、イノアックにとっても、白馬村にとってもひいては日本の多くの地方にとっても重要な意味をもつものだと思っています。敷地内の空間設計は、多くの人が憩える森と建築のバランスを大切にしたいと思います。そして、訪れた地域の方や観光客と企業の新しい関係、ひいては新しいライフスタイルが発見される場になるのではと期待しています。

神谷 白馬村では、ほかの地域以上にイノアックのことが知られるようになってきています。しっかりとした企業姿勢を示すことも必要かと考えています。



名古屋市立大学
大学院芸術工学研究科
建築都市領域 教授
OSCA一級建築士事務所

太幡 英亮様

経営企画本部広報部 部長

神谷 秀幸

リビング事業部 地域事業開発部
白馬事務所 所長

煙山 貴紀

建築本部・建材事業部
建築企画担当

柏崎 賢吾

左から煙山、柏崎、太幡様、神谷

特集 | 白馬での地域密着事業

具体的な設計案として

太幡 白馬村の魅力でもある自然環境を大事にすることは必須です。敷地内の森を人が憩える程度に開きつつ、大きな樹木を最大限活かした設計にしていくことが重要です。また、今回の計画では、コミュニティの空間として中央に森の広場や散策路を設ける提案をしています。

柏崎 事務所、居住、交流といったゾーンが有機的に配置されることもイノアックの新たな拠点として重要。次世代型のビジネスモデルを生み出し、世界へ発信する場にもしたいです。

神谷 イノアックの製品である断熱材など建築資材や家具などインテリアに自然と触れていただけるスペースを取り入れること。それらによりエネルギー効率など環境性能やバリアフリーといったことも必要だと考えています。

煙山 拠点ができた際には、イノアックとして、白馬村としての自慢の施設となるよう創り上げていきたいと思っています。



施設デザイン案の検討

白馬村観光における課題とイノアック

白馬村は観光の村。少子高齢化やインバウンドなど社会状況による観光業における課題とイノアックが関わる可能性について、地元の観光業に携わる皆様にお話をお伺いしました。

(株)五竜 代表取締役社長
一般社団法人 白馬村観光局 代表理事

伊藤 英喜様

自然環境に恵まれた北アルプス・五竜岳の尾根から山麓にかけて、スキー場を開発。持続可能なリゾート運営を実現するため、2023年12月より運営する施設全体の電力を100%再生可能エネルギーへの切り替えを実施。

また、自然回帰活動の一環として白馬五竜高山植物園の運営も行っている。



観光は、リゾート施設だけでは成り立ちません。自治体や公共組織、インフラ整備など多様なステークホルダーが意識を合わせて調整を図り地域としての魅力を作り上げることが重要です。それぞれのリゾート施設が協力して白馬村としてのブランディングを考えられるようにしていきたいですね。

イノアックさんには断熱材やマットレス、家具等の製品はもちろんですが、グローバル企業として多様な人々や地域に向き合ってきた実績をここ白馬村でも活かしていただきたいと思います。

個々の組織は、自分の領域の情報も持っているものの、他との共有などが難しく例えばSDGsといった包括的な観点で物事をとらえて施策を実施するようなことはこれまでどうしても苦手となってきた部分があると思います。また、ここ白馬の観光業においても後継者課題が存在しています。地域の中だけでなく、良い意味での外部の視点をもってイノアックさんが関わることで、良い導き手となっていただけると嬉しいです。



(株)岩岳リゾート 代表取締役社長

星野 裕二様

白馬三山(白馬岳、杓子岳、白馬鍾ヶ岳)が最も美しく望める絶景スポットをはじめ、トレッキングやマウンテンバイク、ウィンタースポーツなど、特別な時間を過ごせるマウンテンリゾートを運営。

山頂エリアでのペットボトルの販売廃止や地産地消をコンセプトにしたメニュー提供など、持続可能な地域を実現する取り組みも積極的に行っている。

一般財団法人 白馬インターナショナルスクール 代表理事
日本スキー場開発(株) 社外取締役

草本 朋子様

白馬インターナショナルスクールは、2022年9月に開校した中高一貫校。

未来の世界を見据えサステナビリティをテーマにしたプロジェクト型学習形式を取り、社会性と情動の学びや、自然環境の中で自己理解、ライフスキルや人間関係構築力などを磨くことのできるアウトドア活動など、3つの柱のカリキュラムがデザインされている。

2021年よりスキー場をはじめとした運営を行っている日本スキー場開発(株)の社外取締役に就任。



昔からの人や新たに白馬村に移ってきた人、高齢者と高校生など若い世代といった白馬村の中でも意識・意欲といったものに差があることも確かです。長期においては、滞在型であったり、国際会議の開催などより広い意味でのリゾートも目指したいところです。イノアックさんには企業を通じた情報の発信で観光視点では行きつかない人たちに届けていただいたり、地域性のあるビジネスモデルとしての構築にもか関わっていただきたいと思います。

特集 | グローバル展開を目指した取り組み

社内表彰制度による従業員エンゲージメント

世界各地の従業員がイノアックグループの一員であることを強く認識し、誇りをもって働ける環境づくりの一環として「社内表彰」制度を設けています。

社内表彰とは、年に一度、イノアックグループの功績を表彰する『顕彰』です。

業績を上げたり、特別な功績をおさめた会社・メンバー・チーム・部署などに贈る表彰となっています。

- 経営トップが直接社員を労う
- 社員のモチベーションアップ
- 会社への信頼感・愛社精神の向上

などの意義をもって執り行われています。

2023年度も世界各国から多くの自薦・他薦によるエントリーが行われ、優秀な事例に各賞が贈られました。

社内表彰 賞一覧

| | |
|-------------|---------------|
| 業績優良賞 | 現場力向上賞 |
| 新技術&パテント優秀賞 | 営業優秀賞 |
| 品質&生産準備優秀賞 | カーボンニュートラル貢献賞 |
| 安全防災優秀賞 | サステナビリティ貢献賞 |
| 調達優秀賞 | ルーキー賞 |
| デジタル推進賞* | 長期功労賞* |

*2023年度からデジタル推進賞と長期功労賞が加わりました。

調達優秀賞

グローバル拠点協同での原料原価低減活動

受賞会社

DONGGUAN INOAC POLYMER CO., LTD. (中国)

添加剤等の少量原料は各拠点での購入となっており、原価低減活動やBCP管理についても、各拠点での対応となっていました。関連する部門が一体となって管理することで、サプライチェーンマネジメントとしての有効性やコスト低減、BCP管理なども平準化されました。

Member/

| | |
|------|---|
| 調達部門 | グローバル調達部門、SIC ^{※1} 調達部門 |
| 工場部門 | 中国SVI ^{※2} 、中国DIP ^{※3} 、中国DIP2 ^{※4} 、ベトナムIVC ^{※5} 、スリランカIPL ^{※6} 、インドネシアPI ^{※7} 、タイITH ^{※8} の関連担当者 |

※1 SHANGHAI INOAC CORPORATIONの略称、※2 SHANGHAI INOAC POLYMER PRODUCTS CO., LTD.の略称、※3 DONGGUAN INOAC POLYMER CO., LTD.の略称、※4 DONGGUAN INOAC ELASTOMER PROCESSING CO., LTD.の略称、※5 INOAC VIETNAM CO., LTD.の略称、※6 INOAC POLYMER LANKA (PVT) LTD.の略称、※7 PT. INOAC POLYTECHNO INDONESIAの略称、※8 INOAC (THAILAND) CO., LTD.の略称



表彰理由

サプライヤーの評価などのマネジメントを部門ごとに実施していたことで重複していたことや増加するサプライヤーへの対応などの非効率性が解消された。

サプライヤーからの原料品質の管理において、一元化して基本的な品質評価を実施することで、全体としての評価工数を削減。また、原料切換における評価の効率化などにも寄与。

将来のサプライヤーマネジメントの発展への寄与

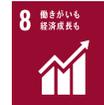
コスト削減効果 当初計画比105%

業務効率化による労働時間低減、エネルギー使用量低減等



特集 | グローバル展開を目指した取り組み

品質 & 生産準備優秀賞



スマートスタンダード活動 作業標準の向上に注力し、スマートオペレーションを実現

受賞会社

INOAC AUTOMOTIVE (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

工場内での作業フロー全体における効率化において、購買、品質、生産それぞれのチーム内で完結していた改善の取り組みを全体のフローとして整理することで、作業の標準化を進め、オペレーションの効率を上げることで生産効率の向上につながりました。

Member /

| | |
|------------------------------|--|
| 品質管理(QC)・ 品質保証(QA) チーム | K.Thansinee T., K.Poonsak B., K.Wittaya P. |
| 生産チーム | K.Passaworn, K.Nutthawut, K.Aphinan |
| 購買チーム | K.Suradej, K.Kamolrat |



表彰理由

チーム間での情報共有、教育の実施

オペレーション改善とレイアウト変更に伴う工場内
原材料の生産効率の向上

関連廃棄物の削減(廃棄物発生量約20%低下)

業務効率化による労働時間低減、エネルギー使用量低減等

日本を見習った諸活動を現地メンバー中心に推進
できている事を大きく評価

長期功労賞



IHL設立 50周年を支えた活動

受賞者

INOAC HONG KONG LTD. (香港)
Popo Fong さん

彼女は、INOAC HONG KONG LTD. (以下、IHL)の初の女性社員として1991年4月に入社、歴代の日本人社長をサポートし、現地従業員のまとめ役を担ってきました。

この間、中国各地での会社設立などのサポートや、SARS等の感染症流行時の従業員の健康管理などを行いました。企業運営だけでなく従業員の労働環境管理にも大きな貢献をしてきました。今年、IHLは無事設立50周年を迎えましたが、彼女のような会社を支える動きが表彰されるべきものとして賞が授与されました。



最前列: Popo Fongさん